

# 読んでほしいな。

ティーンズコーナー 新着図書5月分

新しく入った本の中から  
ピックアップして紹介します



これが目じるし↑

【夏と花火と私の死体】 乙一／著 集英社 (F/オツ)

9歳の夏休み、少女は無邪気な殺人者によってあっけなく殺されてしまう。その死体をめぐって、幼い兄妹の悪夢のような四日間の冒険が始まった。次々に訪れる危機。大人たちの追求から逃れながら死体を隠そうとする幼い兄妹を、死体となった「わたし」の視点で描くホラー小説。

【地震はなぜ起きる？ (岩波ジュニアスタートブックス)】 鎌田浩毅／著 岩波書店

(453/カ)

地震の多い日本で大地震はまた必ず起こる——。しかし、そのしくみを科学的に理解して適切に備えれば、被害はおさえられるのだ。地震の起きるメカニズムや歴史的な巨大地震、これから起きると予想される大地震や必要な備えを科学者がわかりやすく解説する。

【アテルイ 坂上田村麻呂と交えたエミシの勇士】

おおぎなやぎちか／作 江頭大樹／絵 くもん出版 (913/オオ)

奈良から平安時代の初期、朝廷は北へ北へと勢力を広げた。北の地、日高見に住むエミシたちは「ここはわれわれのもの」と雄叫びをあげる。朝廷軍を指揮する坂上田村麻呂と、エミシを率いるアテルイの、未来をかけた駆け引きが始まった！

【なんで洞窟に壁画を描いたの？ 美術のはじまりを探る旅 (13歳からの考古学)】

五十嵐ジャンヌ／著 中島梨絵／画 新泉社 (702/イ)

歴史大好きな中学1年生・秋山理乃は、「ラスコー展」で謎深い洞窟壁画の魅力にはまってしまい、ついにはフランスに本物の洞窟壁画を見に行くことに…！なぜ大昔の人はわざわざ真っ暗な洞窟に壁画を描いたのか？壁画の謎と文化祭で発表する「美術のはじまり」というテーマの答えを求めて、理乃が奔走する。

読みたかった本がある  
…かもしれない  
《ティーンズコーナー》  
をのどきに来てね。